

## 親しみやすい場所 ～ 頑丈な『からっぽの器』～

2026年1月10日 早朝、雪の積もる富士山を眺め心が癒された。その後、『21世紀のエステル会』顧問を仰せつかっている筆者は、【川口がん哲学カフェ『いづみ』(主催:『21世紀のエステル会』代表 金田佐久子牧師)】9周年記念講演会『良き師、良き友、良き読書との出会い～役割意識と使命感の自覚』】に赴いた。【がんであっても尊厳をもって人生を生きる。『がん哲学外来』の提唱者・樋野先生のお言葉に耳を傾けてみませんか。】と紹介されていた。会場では、多数の質問が寄せられ、大いに感動した。『21世紀のエステル会』のメンバーは、【代表 金田佐久子(西川口教会牧師) / 広報部長 田鎖夕衣子(がん哲学外来メディカルカフェひばりが丘代表) / 企画部長 太田和歌子(がん哲学外来白鷺メディカル・カフェ代表) / 編集係 海老澤規子(がん哲学外来さいわいカフェ in 茨城・筑西代表)】で構成されている。終了後、夕食会の時をもった。2026年10周年記念本が、製本される事が決まった。田鎖夕衣子氏は、勤務されている『日本キリスト教団出版局』から、2019年12月10日『教会でもがん哲学外来カフェを始めよう』を発行された。(画像)

【はじめに】本書は、この『がん哲学外来カフェ』を『教会でも、開こう!』と呼びかけるために作られました。現実に、今、全国で200あるカフェのうち、教会で開かれているカフェが50近くあります。私の夢は人口1万5千人にひとつ、カフェがあることです。そのためには、日本全国に7千のカフェが必要です。それは奇しくも、日本全国にある教会の数でもあるのです。

### 第1部 教会で、『がん哲学外来カフェ』を開くために、大切なこと

頑丈な『からっぽの器』を用意しよう・・・・・・ 樋野興夫

キリストを感じてもらえる働きを・・・・・・ 榊原 寛

### 第2部 『がん哲学外来メディカルカフェ』 スタッフ体験記

許し許されながら寄り添い合う・・・・・・ 彦田 かな子

『カフェ』は愛と希望を与えてくれる場所 ・・・ 森 尚子 他

### 第3部 『教会カフェ』いかに始め、いかに続けてきたか

『ようこそ!』という溢れる思いで・・・・・・ 春日井 いつ子

バトンを受け取って ・・・・・・ 太田和歌子

ゆるーい雰囲気を大切に ・・・・・・ 海老澤規子

一回の『カフェ』が一期一会と心得る ・・・ 金田佐久子 他

【おわりに】『がん哲学カフェ』は、教会へのチャレンジです。牧師と教会員が『馬』をおりて、『カフェ』の参加者と同じ目線に立ち、そして教会に広々とした場所を作っていく。そのような教会は、がんの方だけでなく、誰にとっても、入りやすく親しみやすい場所であるはずです。

# 教会でも がん哲学外来カフェを 始めよう

Okio Hino

樋野興夫 編著



「がん哲学外来」  
創設者  
樋野興夫氏が  
おくる

苦悩に寄り添い共感する場が、  
圧倒的に不足しています

私の夢は人口1万5000人にひとつ、カフェがあることです。  
そのためには日本全国に7000のカフェが必要です。  
それは奇しくも、日本全国にある教会の数でもあるのです。

日本キリスト教団出版局